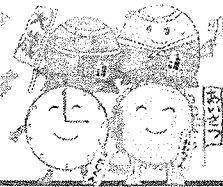


心和得天真

～心和して天真を得る



山口市立大歳小学校
学校だより
令和8年7月

『挑戦する心と支え合う力』

新年度がスタートしてから、早いもので3か月が過ぎ、1学期も残り1か月となりました。先日の授業参観や引き渡し訓練では、多くの保護者の皆様にご参観、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

5月末の運動会を終え、梅雨の時期を迎えています。心身ともに疲れを感じやすい時期ではありますが、「1年生と仲良くなる会」や「体力アップ集会」、「なかよし班遊び」など、各委員会が企画・運営して工夫した活動を行ったり、6年生が中心となって楽しい時間をつくったりするなど、子どもたちが主体的に学校生活を楽しめるように取り組んでいます。また、水泳学習も始まり、夏ならではの大切な学びにも取り組んでいます。保護者の皆様にはボランティアとしてもご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さらに、2年生の町探検や5年生の田植え体験など、地域の「もの」「こと」「ひと」と関わりながら学びを深めています。1学期の残り1か月も、一人ひとりの学びを大切にしながら、充実した形で夏休みを迎えられるよう取り組んでまいります。



さて、現在開催されているサッカーのワールドカップでは、世界中が熱い声援に包まれています。学校でも、子どもたちがワールドカップの話題で盛り上がる様子を見かけます。日本代表の選手たちは、私たちにたくさんの感動や勇気を与えてくれています。しかし、その選手たちも最初から上手だったわけではありません。何度も失敗や挫折を経験し、そのたびに努力を重ねながら成長してきた人たちです。

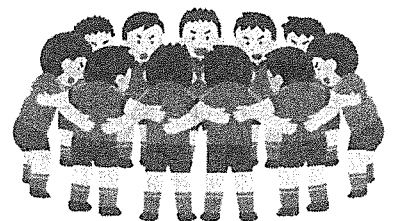
「すぐに結果が出なくても、続けることで成長できる！」

そんな大切なことを、サッカーを通して、私たちに教えてくれているように感じます。子どもたちにも、「できないからやめる」のではなく、「できるようになるまで挑戦してみる」という気持ちを大切にしてほしいと思います。

そして、もう一つ。日本代表の強さを支えているものとして、仲間との結束力、団結力が挙げられています。試合中、失点後に円陣を組む日本代表の姿が見られます。これは、下を向くのではなく、これからどうするかを確認し合い、互いの心をつなぐための行動だと言われています。うまくいかないことや失敗があったときも、仲間と声を掛け合い、気持ちを切り替えながら次のプレーへ向かっているのです。

学校生活においても、学習や運動で思うようにいかないことがあります。そんなときこそ、一人で抱え込まず、友達や先生と励まし合いながら前向きに取り組んでほしいと思います。

「失敗しない人がすごいのではなく、失敗しても立ち上がれる人がすごい！」
学級も学校も一つのチームです。互いに声を掛け合い、支え合いながら成長していけるよう、これからも教育活動の充実に努めてまいります。



校長 門 岡 裕 二